

算数オンライン塾 10月15日の問題 解説

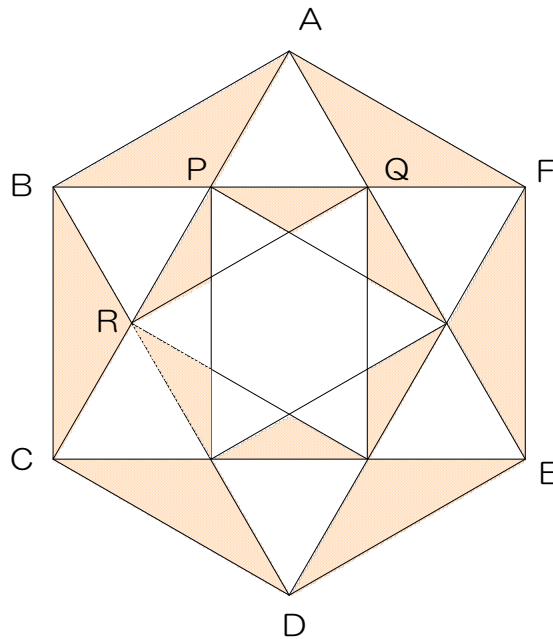
(解説)

三角形 ACE は正三角形で、三角形 APQ も正三角形になることから、 $BP=PQ=QF$ となります。

三角形 ABF は正六角形 ABCDEF の $\frac{1}{6}$ ですから、 $36 \times \frac{1}{6} = 6$

三角形 ABP はその $\frac{1}{3}$ ですから $6 \times \frac{1}{3} = 2$ これと同じ三角形が 6 個あるので、 $2 \times 6 =$

12 cm^2 ですから、ちょうど正六角形の $\frac{1}{3}$ です。



PQ を 1 辺とする正六角形は、三角形 APQ が 6 つある正六角形ですから、三角形 APQ = 2 cm^2 ですから、 $2 \times 6 = 12 \text{ cm}^2$

内側の斜線部はそのちょうど $\frac{1}{3}$ になるので、 $12 \times \frac{1}{3} = 4$

合計は $12 + 4 = 16 \text{ cm}^2$

(答え) 16 cm^2